

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公開番号】特開2006-81032(P2006-81032A)

【公開日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-012

【出願番号】特願2004-264644(P2004-264644)

【国際特許分類】

H 04 L 29/10 (2006.01)

【F I】

H 04 L 13/00 309 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月17日(2010.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記ヘッダ生成手段は、

TCPヘッダを1ヘッダ毎に生成するTCPヘッダ生成手段と、

UDPヘッダを1ヘッダ毎に生成するUDPヘッダ生成手段と、

IPヘッダを1ヘッダ毎に生成するIPヘッダ生成手段と、

MACヘッダを1ヘッダ毎に生成するMACヘッダ生成手段とを有し、

前記プロトコル制御手段は、前記TCPヘッダ生成手段、前記UDPヘッダ生成手段、

前記IPヘッダ生成手段及び前記MACヘッダ生成手段にヘッダの生成指示を出力することができる特徴とする請求項1記載の通信制御装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

通信制御装置が行う通信制御方法であって、

フレーム生成に必要なヘッダ生成情報を収集し、ヘッダ生成指示及びヘッダ生成情報をフレーム毎に出力するプロトコル制御ステップと、

前記ヘッダ生成指示及び前記ヘッダ生成情報を入力すると、ヘッダを1ヘッダ毎に生成し、ヘッダ生成完了通知を出力するヘッダ生成ステップと、

前記ヘッダ生成完了通知を入力すると、前記生成されたヘッダ及びフレーム単位のペイロードをフレームとして合成するヘッダ/ペイロード合成ステップとを有すること特徴とする通信制御方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明の通信制御方法は、通信制御装置が行う通信制御方法であって、フレーム

生成に必要なヘッダ生成情報を収集し、ヘッダ生成指示及びヘッダ生成情報をフレーム毎に出力するプロトコル制御ステップと、前記ヘッダ生成指示及び前記ヘッダ生成情報を入力すると、ヘッダを1ヘッダ毎に生成し、ヘッダ生成完了通知を出力するヘッダ生成ステップと、前記ヘッダ生成完了通知を入力すると、前記生成されたヘッダ及びフレーム単位のペイロードをフレームとして合成するヘッダ／ペイロード合成ステップとを有することを特徴とする。